

むつ市議会第231回定例会会議録 第1号

議事日程 第1号

平成29年2月22日（水曜日）午前10時00分開会・開議

◎監査委員就任挨拶

◎教育委員会委員就任挨拶

◎固定資産評価審査委員会委員就任挨拶

◎諸般の報告

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 行政報告

第4 市長施政方針

【議案一括上程、提案理由説明】

第5 議案第1号 むつ市中小企業振興基本条例

第6 議案第2号 むつ市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例

第7 議案第3号 むつ市部設置条例の一部を改正する条例

第8 議案第4号 むつ市個人情報保護条例の一部を改正する条例

第9 議案第5号 むつ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

第10 議案第6号 むつ市税条例等の一部を改正する条例

第11 議案第7号 むつ市介護保険条例の一部を改正する条例

第12 議案第8号 むつ市指定地域密着型サービスの事業及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

第13 議案第9号 むつ市観光遊覧船条例の一部を改正する条例

第14 議案第10号 財産の取得について

（新体育館の建設用地を取得するためのもの）

第15 議案第11号 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

第16 議案第12号 むつ市総合経営計画の基本構想について

第17 議案第13号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

第18 議案第14号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて

第19 議案第15号 平成28年度むつ市一般会計補正予算

第20 議案第16号 平成28年度むつ市後期高齢者医療特別会計補正予算

第21 議案第17号 平成28年度むつ市下水道事業特別会計補正予算

第22 議案第18号 平成28年度むつ市魚市場事業特別会計補正予算

第23 議案第19号 平成28年度むつ市水道事業会計補正予算

- 第24 議案第20号 平成29年度むつ市一般会計予算
- 第25 議案第21号 平成29年度むつ市国民健康保険特別会計予算
- 第26 議案第22号 平成29年度むつ市後期高齢者医療特別会計予算
- 第27 議案第23号 平成29年度むつ市介護保険特別会計予算
- 第28 議案第24号 平成29年度むつ市下水道事業特別会計予算
- 第29 議案第25号 平成29年度むつ市公共用地取得事業特別会計予算
- 第30 議案第26号 平成29年度むつ市魚市場事業特別会計予算
- 第31 議案第27号 平成29年度むつ市水道事業会計予算
- 第32 報告第1号 専決処分した事項の報告について
(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
- 第33 報告第2号 専決処分した事項の報告について
(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
- 第34 報告第3号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて
(平成28年度むつ市一般会計補正予算)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（25人）

1番	原 田 敏 匡	2番	山 本 留 義
3番	佐々木 隆 徳	4番	工 藤 祥 子
5番	横 垣 成 年	6番	目 時 睦 男
7番	川 下 八 十 美	8番	石 田 勝 弘
9番	菊 池 広 志	11番	菊 池 光 弘
12番	岡 崎 健 吾	13番	鎌 田 ちよ子
14番	佐 賀 英 生	15番	大 瀧 次 男
16番	半 田 義 秋	17番	富 岡 修
18番	斉 藤 孝 昭	19番	富 岡 幸 夫
20番	村 中 徹 也	21番	白 井 二 郎
22番	中 村 正 志	23番	野 呂 泰 喜
24番	濱 田 栄 子	25番	佐々木 肇
26番	浅 利 竹 二 郎		

欠席議員（1人）

10番	東 健 而
-----	-------

説明のため出席した者

市 長	宮 下 宗 一 郎	副 市 長	新 谷 加 水
教 委 員 育 会 長	宮 浦 雅 子	教 育 長	遠 島 進
公 管 理 企 業 者	花 山 俊 春	代 監 査 委 員	齊 藤 秀 人
選 挙 管 理 会 長	畑 中 政 勝	農 委 員 会 長	立 花 順 一
総 務 政 策 長	川 西 伸 二	財 務 部 長	氏 家 剛
財 務 部 務 監 策 監	赤 坂 吉 千 代	民 生 部 長	光 野 義 厚
保 健 福 祉 長	畑 中 秀 樹	保 福 健 づ 推 進 社 会 部 康 復 監	井 田 敦 子
経 済 部 長	高 橋 聖	建 設 部 長	吉 田 正

川所川管
内内理
庁庁課
舎舎長
計者務部事長
員長
局長
務部策監
部策監
務部策長
舎活長
務部課查
主任主查

二本柳
山本宏
竹山清
金澤寿々子
村田尚
中里敬
佐藤孝悦
山村英樹
栗橋恒平

野所課
野舎野理
協庁協庁管
選委事
農委事經理
公局下部
經副産課
總政總
財務課
大管主
總政總主
沢長沢舎長
理會長
業會長部事
業長道長
部事興長
務部長
部長
舎課幹
務部課事

畑中
杉山重
工藤初男
萬年茂昭
伊藤泰成
須藤勝広
吉田真
柏谷かおり
中村善光

事務局職員出席者

事務局長
主幹
主任主查

柳田諭
小林睦子
葛西信弘

次長
主任主查
主任主事

東村山
雄一
二也翼

◎開会及び開議の宣告

午前10時00分 開会・開議

○議長（浅利竹二郎） ただいまからむつ市議会第231回定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員は25人で定足数に達しております。

これから本日の会議を開きます。

◎監査委員就任挨拶

◎教育委員会委員就任挨拶

◎固定資産評価審査委員会委員就任 挨拶

○議長（浅利竹二郎） 議事に入る前に就任の挨拶を行います。

さきの定例会において、むつ市監査委員に選任されました齊藤秀人氏、むつ市教育委員会委員に任命されました宮浦雅子氏及び田中志昌氏並びにむつ市固定資産評価審査委員会委員に選任されました村田和夫氏から就任のご挨拶をお願いいたします。

まず、齊藤秀人氏、お願いいたします。

（齊藤秀人代表監査委員登壇）

○代表監査委員（齊藤秀人） おはようございます。本日は、本会議の貴重なお時間を割いていただき就任の挨拶を申し述べる機会をいただき、心から感謝申し上げます。

私は、さきのむつ市議会第230回定例会におきまして、議員の皆様のご同意を賜り、監査委員を拝命いたしました齊藤秀人でございます。

合併から12年、新生むつ市が黎明期を経て、近年は日の光が差し込んできていると感じているところであります。そして、現在全国的に地方創生に向けた取り組みが進められており、それぞれの

地方自治体の経営手腕が問われている状況にあります。

また、むつ市は、新年度から新たな将来計画のもと、「希望のまち・むつ」の実現を目指しているところであります。その中で監査委員が果たすべき役割は、行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資することにあると認識しております。

微力ではございますが、むつ市政発展のため、職責の重要性を強く認識し、公平、不偏をもって職務に全力を傾注する決意でございます。つきましては、議員の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（浅利竹二郎） 次に、宮浦雅子氏、お願いいたします。

（宮浦雅子教育委員会委員登壇）

○教育委員会委員（宮浦雅子） このたび再任をご同意していただきました宮浦雅子です。

一人一人の子供が地域の宝であり、持続可能な社会のづくり手となります。昨年11月に策定されたむつ市教育大綱を基軸に、この複雑多難な時代を自らたくましく切り開いていく子供たちを育てるために、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしつつ、しっかりと連携を保つことの重要性を痛感しております。

また、時を同じくして下北ジオパークが認定されました。ふるさとの海と大地、そこにしっかりと根差した私たちの暮らし、それらを改めて深く見詰め、その価値を再確認する絶好の機会となりました。ふるさとを深く学び、豊かなふるさとの恵みを享受することで郷土に誇りと愛着を持つ子供たちが健やかに育っていくことを確信しております。

「心豊かに生きるための真の教育とは」を常に

問いながら、誠実にこの任に当たってまいり所存でございます。

皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

○議長（浅利竹二郎） 次に、田中志昌氏、お願いいたします。

（田中志昌教育委員会委員登壇）

○教育委員会委員（田中志昌） このたびむつ市教育委員会教育委員を拝命いたしました田中志昌と申します。

私は、大湊浜町に生まれ、大湊小学校、大湊中学校、そして市内の高校を卒業した後歯学部に進学し、平成2年に市内に歯科医院を開業いたしました。平成21年からむつ下北歯科医師会会長、また学校関係ではむつ学校保健会副会長を務めさせていただいております。

開業当初から学校医として奥内小学校を初め、現在は大湊小学校の学校歯科医として歯科検診のほか、口の健康や喫煙と歯周病の関係などの健康教育も行っております。私の話に目を輝かせて聞いてくれる子供たちは、本当に社会の宝だと思っております。しかし、今日、いじめによる自殺や不登校がしばしば報道されます。そのような報道を聞くたびに、本人や家族の気持ちを考えると、本当に心が痛みます。

子供たちにとって、学校は安心できる場所であればならないと思っております。子供たちの心と体の健康と輝ける未来を守るために、少しでも力になればと思っております。

私自身未熟者ではございますが、皆様のご指導を仰ぎながら努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単ですが、就任の挨拶とさせていただきます。

○議長（浅利竹二郎） 次に、村田和夫氏、お願いいたします。

（村田和夫固定資産評価審査委員

会委員登壇）

○固定資産評価審査委員会委員（村田和夫） おはようございます。むつ市議会第230回定例会において議員の皆様のご同意をいただき、むつ市固定資産評価審査委員会の委員に就任いたしました村田と申します。就任に当たりまして、ご挨拶申し上げたいと思います。

固定資産評価審査委員会の委員として、職務の重要性を十二分に認識し、法令等に照らし、公平公正な判断を心がけ、誠実に実行していきたいと思っております。

議員の皆様のご理解と、ご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。甚だ簡単粗辞ではございますが、挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（浅利竹二郎） これで就任の挨拶を終わります。

◎諸般の報告

○議長（浅利竹二郎） 次は、諸般の報告を行います。

まず初めに、地方自治法第121条第1項に基づく今定例会への説明員の出席者については、お手元に配布の名簿のとおりであります。

次に、監査委員から、地方自治法第235条の2第3項の規定に基づく例月出納検査の結果報告がありました。なお、関係書類は事務局に保管してありますので、ご閲覧願います。

次に、本日市長から、公害対策に関する経過報告、むつ市脇野沢地区不法投棄現場周辺水質調査に関する経過報告、交通問題対策に関する経過報告及び工事請負契約に係る入札結果資料が提出されましたので、お手元に配布しております。

次に、全国市議会議長会等の会議結果につきましては、お手元に配布の報告書のとおりでありま

すので、ご了承願います。

次に、去る2月10日に開催された平成28年度青森県市議会議長会第3回定期総会において、むつ市議会から提出しております下北半島縦貫道路の整備促進については、道路交通環境の整備促進についてとして、来る4月13日仙台市で開催される第69回東北市議会議長会定期総会提出議案として決定されましたので、ご報告いたします。

次に、2月13日から15日まで実施しました国への要望活動に参加した議員10名については、会議規則第167条第1項ただし書きの規定により、議長が参加議員の派遣を決定しておりますので、ご了承願います。

なお、要望先の東北地方整備局及び国土交通省に対しては、下北半島縦貫道路の整備促進について、東北防衛局及び防衛省に対しては海上自衛隊大湊基地構内等の浚渫及び艦艇配備について、青森県選出衆参国会議員に対しては、これら2項を要望しておりますので、ご報告いたします。

次に、本日この後、大畑庁舎の移転の検討について、道の駅整備事業の延期について及び放射性廃棄物保管施設における安全対策に関する経過報告について市長から行政報告がありますので、ご了承願います。

以上で諸般の報告を終わります。

○議長（浅利竹二郎） 本日の会議は議事日程第1号により議事を進めます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（浅利竹二郎） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第89条の規定により、8番石田勝弘議員及び19番富岡幸夫議員を指名いたします。

◎日程第2 会期の決定

○議長（浅利竹二郎） 次は、日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から3月17日までの24日間としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（浅利竹二郎） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日から3月17日までの24日間と決定いたしました。

◎日程第3 行政報告

○議長（浅利竹二郎） 次は、日程第3 行政報告を行います。

市長から報告を求めます。市長。

（宮下宗一郎市長登壇）

○市長（宮下宗一郎） おはようございます。本日、3点ご報告がございます。

まず第1点目、大畑庁舎の移転の検討についてであります。

大畑庁舎につきましては、昭和53年の建築から38年を経過し、老朽化が著しく、雨漏りや天井材の落下、さらに、漏電や暖房配管の蒸気漏れなどの発生頻度も高く、来庁される市民の皆様にご不便をおかけしているほか、事務効率の低下を招いているところでございます。

また、施設規模については、現在の職員数や来庁者数を考慮すると著しく過大であり、老朽化に伴う修繕費などを含め、年間3,000万円程度の維持費がかかるなど非効率的な庁舎管理を余儀なくされております。

これまで、大畑庁舎の老朽化につきましては、市民の皆様からも「旧議場の屋根部分の見た目が

ひどい」、「冬は全体が寒い」、「外壁の劣化がひどい」、「防災拠点としてふさわしくない」などさまざまなご意見をいただいているところであります。

このような状況を踏まえ、新年度予算に調査設計費を計上し、庁舎の機能性、利便性、経済性などにつきまして、地域のコンセンサスを得ながら、既存施設の有効利用を前提とした早期移転に向けて検討を進めてまいります。

なお、移転先既存施設といたしまして、現庁舎に近いこと、現在の駐車場を使えること、防災拠点として十分に利用可能なこと、さらに今後増加すると予想される空き教室の有効利用にもなり得ることなどから、むつ市立大畑小学校の空き教室を念頭に置いて、これを改修することで、検討を進めてまいりたいと考えておりますので、議員各位のご理解、ご支援をお願い申し上げ、ご報告とさせていただきます。

次に、道の駅整備事業の延期についてご報告いたします。

国道279号バイパス、国道338号バイパス及び建設が進められている下北半島縦貫道路むつ南バイパスの起点が合流する付近への「道の駅」の整備を計画し、平成32年度のオープンを目指し事業を進めてまいりましたが、このたび、整備事業を延期することといたしました。

本件につきましては、平成27年度に青森県が行った公共事業再評価の結果により、下北半島縦貫道路むつ南バイパス整備事業の終了予定年度が、平成28年度から平成37年度へと9年間延期されたこと、さらに昨年8月にお示しいたしました「むつ市財政中期見通し2016」に投資的経費の見直しが掲げられ、平成29年度予算において全ての普通建設事業について中長期的視点に立って再構築を行った結果の判断となります。

事業の延期による新たなオープン予定時期は、

現時点では未定ですが、既に基本方針の中でお示しした、休憩機能にとどまらない情報発信機能、産業育成機能、防災機能を有する道の駅とするためには、下北半島縦貫道路むつ南バイパスの完成と同時期にオープンすることが最も効果的であると考えており、今後の事業スケジュールは、南バイパスの完成に合わせて来年度において策定いたしたいと考えておりますので、ご了承賜りたいと存じます。

次に、平成28年5月16日に発生いたしました国立研究開発法人日本原子力研究開発機構バックエンド研究開発部門青森研究開発センターにおけるドラム缶の漏えいについて及び平成29年2月14日に青森県及び青森県漁業協同組合連合会とともに市が実施した同センターへの定期立入調査の結果についてご報告いたします。

まず、ドラム缶の漏えいについてであります。2月1日、同機構から今回の漏えいの原因についての最終報告及び今後の対策について報告を受けました。

原因については、「液体廃棄物をセメント固化する際に、塩酸などを含む試薬が混入し、その際、海水の約4.6倍程度の水分が発生し、ドラム缶を腐食させ外に漏れ出たもの」とのことです。当該ドラム缶については、新たに漏えい等が発生しないための対策を実施し、現在も安全に保管管理されており、液体廃棄物を直接セメント固化した同類のドラム缶21本についても、全て内部確認を行い、異常がないことを確認したとの報告でありました。

また、今回の原因及び対策の報告については、原子力規制庁にも報告し、確認していただいたとのことであり、今後においても、再発防止対策を確実に実施し、市民の皆様のご理解を得られるよう、安全管理に万全を期すとのことでありました。

今回の事象は、周辺環境への影響は放射線を含

め全くなかったものの、市民の皆様の安心・安全の確保に万全を尽くすよう、改めて同機構へ指示したところであり、市といたしましては、今後も、国、県と連携しながら十分な監視を行ってまいりますので、ご理解賜りたいと存じます。

なお、2月14日に実施した立入調査の結果、放射性廃棄物は適正に保管されていたことをご報告いたします。

○議長（浅利竹二郎） これより質疑を行います。

質疑は、それぞれ区分して行います。

まず、大畑庁舎の移転の検討についての報告に対し、質疑ありませんか。24番濱田栄子議員。

○24番（濱田栄子） 大畑庁舎の移転の検討についてお尋ねいたします。

まず、地域のコンセンサスを得ながら進めていくということですが、そのコンセンサスを得ること、複数の人のコンセンサスということは、複数の人の合意、意見の一致という意味でありますけれども、これは小学校移転そのものも含めるべきではなかったかなと思っております。やはりもうここに出てしまっておりますので、既存施設の有効利用を前提としたということですので、まず地域のコンセンサスに対しても、この小学校移転ということが先に意見が出ております。ですから、それを含めて、やっぱり移転ということの一致を得るべきではなかったのか、これからだと思いますけれども。

そして、その複数のコンセンサスを得るために、例えばどういった経緯で持っていくつもりか。けさの新聞報道ですと、商工関係、福祉関係という言葉がありましたけれども、やはり次世代の若い方たちや町内会、多くの人たちの意見を募って決定していくべきだと思います。大畑庁舎という、やはり大畑地域にとっては本当に指令塔でありますので、その辺のところの考えをお願いいたします。

○議長（浅利竹二郎） 大畑庁舎市民生活課長。

○大畑庁舎市民生活課長（山村英樹） お答えいたします。

その辺につきましては、各町内会長さんのほうに前ご説明いたしまして、ある程度のご理解はいただいているものと思っております。

○議長（浅利竹二郎） 24番。

○24番（濱田栄子） そうすれば、町内会長さんたちの意見については、理解をしているということで、こちらで理解してもよろしいですか。

○議長（浅利竹二郎） 市長。

○市長（宮下宗一郎） お答えいたします。

今回の行政報告についてでありますけれども、あくまでもこれは移転ということの一候補地としてこれがふさわしいのではないかということで調査を始めるということでご理解いただきたいと思います。

そして、今までの合意形成のコンセンサスと言いましたけれども、合意形成のプロセスですが、町内会長を初めとしてさまざまな方々に少しずつこのお話を申し上げているという段階でございます。実際にどういう形で移転をしていくのか、そういう姿を少し明らかにしたうえで判断をさせていただくことだというふうに私も思っておりますので、これからしっかりとした形で地域の方々にお話をさせていただく段階だと思っております。

以上です。

○議長（浅利竹二郎） 24番。

○24番（濱田栄子） ありがとうございます。地域にとっては本当に大きな問題であります。確かに小学校の空き教室の利用ということは、本当に一番考えられることではないかなと私自身は思っておりますけれども、やはり皆様のご理解ということが一番大切なことではないかなと思っておりますので、そのプロセスを大切にして、市民の理解を十

分に得られるように進めていただきたいと思います。

終わります。

○議長（浅利竹二郎） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（浅利竹二郎） 質疑なしと認めます。

次に、道の駅整備事業の延期についての報告に対し、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（浅利竹二郎） 質疑なしと認めます。

次に、放射性廃棄物保管施設における安全対策に関する経過報告に対し、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（浅利竹二郎） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

以上で行政報告を終わります。

◎日程第4 市長施政方針

○議長（浅利竹二郎） 次は、日程第4 市長施政方針を行います。

市長から施政方針の説明を求めます。市長。

（宮下宗一郎市長登壇）

○市長（宮下宗一郎） 「この国には何でもある。だが、希望だけがない」。

これは、ちょうど私が働き始めたころの村上龍の小説「希望の国のエクソダス」の一節であります。この言葉について常に自問自答を繰り返してきました。

むつ市に希望をもたらすことができるのか。むつ市民の皆様が希望をもたらすことができるのか。

むつ市議会第231回定例会の開催に当たり、平成29年度の市政運営に臨み所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

時代認識・社会情勢に関する所感

今、世界は分断されつつあります。

中東ではイランとサウジアラビアの対立に端を発する過激派組織ISの台頭により、シリアではこれまで東日本大震災の15倍以上の犠牲者が出て、そしておそらくこの瞬間も小さな命が失われています。

ヨーロッパでは、経済格差を契機としたイギリスのEU離脱、難民問題が引き起こす各国での右派政権の台頭、パリをはじめとする主要都市でのテロ行為、そして公然と大使が殺害もされています。

近隣の東アジアに目を向けても、弾道ミサイルを発射する北朝鮮、領土的野心をむき出しにする中国、本来自由と民主主義的価値を共有すべき韓国も歴史問題で我が国を辱めようとしています。

最大の同盟国であるアメリカも新大統領の方針により、国際協調よりも国内重視の政策を打ち出し、予断を許さない状況になっています。

世界は、緊張と、そして自由を標榜する我々にとって、ある種の絶望にも似た観測に覆われているといってもいいかもしれません。

むつ市の現状

むつ市の現状をみると、平成17年の市町村合併以来、人口減少を続け、ついに本年1月に6万人を切ることになりました。このままいけば、あと15年後には市の要件となる5万人をも切るようになります。

また、合計特殊出生率が1.67に対して、高齢化率は3割を超えておりこの差が自然減となってむつ市の経済社会を縮小へと向かわせまします。

さらに、市の平均寿命は、47都道府県の中でも最下位の青森県にあっても下位であり、全国の市区町村の中でも女性がワースト16位、男性がワースト8位となっています。

そして、本市歳入の約3割を占める普通交付税

は、市町村合併に係る特例加算の段階的減少により、平成26年度の交付額と比べて平成32年度には単年度当たり8億円を超える大幅な減額が想定されていることに加え、歳出の効率化を推進する観点から導入されたトップランナー方式によって、一層の業務改革が求められていることなどから、更なる減額の可能性があることに強い危機感を抱かざるを得ません。

さらに、一部事務組合下北医療センターの大畑診療所が抱える不良債務約8億円の解消やむつ総合病院に対する債務負担行為約31億円の履行、国民健康保険特別会計が抱える約5億円の累積赤字の解消など、今後も多額の一般財源が不可欠な状況となっています。

予算編成方針

このような現状を踏まえ、平成29年度予算編成におきましては、昨年8月に公表した「むつ市財政中期見通し2016 ～緊急健全化対策～」を前提とし、早期に歳入に見合った財政規模への転換を図り、「財政の健全化」を最重点事項として、全ての事務事業について既成概念や前例にとらわれることなく、選択と集中による徹底した見直しを行うことといたしました。

その結果、平成29年度一般会計予算の総額は、328億6,000万円となり、前年度に比べ額にして5,400万円の減、率にして0.2%の減となったところであります。

主要施策

このような現状においても、むつ市の成長を促し、希望を見出すべく重点施策についてとりまとめました。

しごとづくり

まず初めに、人口減少対策に資するしごとづくりの予算として起業家ワンストップ支援事業、海外展示商談会・見本市出展助成事業、「新・三種の神器」商店街活性化事業などむつ市の地域経済

の活性化にも資する元気の向上のための施策を展開してまいります。

まちづくり

次に、暮らしの向上に資するまちづくりの予算として、新総合アリーナ建設事業、大畑庁舎移転調査事業、地域コミュニティ保全事業など、将来にわたって地域の礎となるハード・ソフト施策を展開してまいります。

ひとづくり

そして、未来を切り開くひとづくり事業として、新聞を活用した学習への支援事業、未来人材育成奨学金プロジェクト、ICTを活用した特別支援教育研究事業、むつサテライトキャンパス事業など子供たちの輝く未来を応援する施策を展開してまいります。

子育て応援

加えて、ゆりかごからの応援事業として、0歳児待機児童の解消のための施設整備に関する補助事業、キッズパーク運営事業、こんには赤ちゃん事業を実施し、こどもの国むつ市を目指す施策を展開してまいります。

健康づくり

本市最大の課題といってもいい健康づくりについては、健康マイレージ事業、すこやかサポート事業所事業、健康チェッカーズ事業を実施し、併せて健診受診の環境を整えることで、本市発の「寿命革命」を目指すべく施策を展開してまいります。

安全安心

さらに、市民の皆様が安心して暮らせる毎日を提供するため、大湊消防庁舎建設事業、常備消防車両整備事業、むつ市自主防災組織設立助成事業等を実施し、火災や災害に備えた万全の体制を整える施策を展開してまいります。

魅力の向上

また、魅力ある選ばれるむつ市への転換を図るため、下北ジオパーク夢実現プログラム、イルカ

と人との共生によるふれあいビーチ in むつわん、夢の平成号及び鯛島利活用整備事業等を実施し国内外からの交流人口と滞在人口の拡大を図るための施策を展開してまいります。

このほか、認知症対策を含む高齢化対策など必要な施策を重点的に行いつつ、年度の途中であっても、積極的に交付金や補助金の活用を行い、市民の皆様へ寄り添いながら実施していきたいと考えております。

結びに

一つ一つの行動も、誠心誠意続けていると、いつか共鳴する人が現れ、行動が広がり、同じ思いが、つながりはじめる。これまでのジオパークなどの取組を通じて私自身が学び実感したことであります。

分断の時代だからこそ、私たちはつながる必要があります。先行きが見えない不透明な時代だからこそ、私たちはつながる必要があります。

市民の皆様がお互いにつながり、行政と市民の皆様がつながり、むつ市と他の地域がつながり、そして市場を介して私たちが世界とつながっていく。

それぞれが片隅を照らし、そのあかりがむつ市を照らしていく。

本定例会で提案させていただいております「むつ市総合経営計画」においては、PDCAサイクルの導入、アウトカム指標の設定、各種施策の関連付けを通じて、新たな行財政運営を目指すこととしております。

連携と協働によるまちづくり元年として、成長するむつ市とむつ市役所を演出できるよう取り組んでまいります。

米国の作家、トム・克蘭シーの言葉としてこのようなものがあります。

Man is a creature of hope and invention,
both of which belie the idea that things

cannot be changed.

人は、希望と創造の生き物であり、そのことが物事は変えられないということが誤っているということをお教えしてくれる。

平成29年度の予算案がもたらす変化が、むつ市とむつ市民の皆様への新たな希望となり、その創造力で、市民の皆様が笑顔が輝くことに期待をしております。

笑顔輝く希望のまちへ、そのあくなき挑戦に取り組むことを宣言し、議員の皆様にはなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の所信の一端とさせていただきます。

○議長（浅利竹二郎） これで、施政方針の説明を終わります。

◎日程第5～日程第34 議案一括上程、 提案理由説明

○議長（浅利竹二郎） 次は、日程第5 議案第1号 むつ市中小企業振興基本条例から日程第34 報告第3号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについてまでの30件を一括議題といたします。

市長から提案理由の説明を求めます。市長。

（宮下宗一郎市長登壇）

○市長（宮下宗一郎） ただいま上程されました27議案3報告について、提案理由及び内容の概要をご説明申し上げます、ご審議の参考に供したいと存じます。

それでは、新年度予算の議案からご説明いたします。

初めに、議案第20号 平成29年度むつ市一般会計予算についてであります。

予算総額は、歳入歳出とも328億6,000万円となります。

これを前年度当初予算と比較しますと、金額で

は5,400万円、率では0.2%の減となっております。

予算総額が減額となりました主な要因は、歳出では、一部事務組合下北医療センター貸付金で10億円の増となったものの、公債費で6億5,600万円、燧岳周辺地域地熱開発関連事業費で約5億円の減となったことなどによるものであります。

一方、歳入では、下北医療センター貸付金元金収入で10億円の増となったものの、地熱資源開発調査事業費助成金で4億8,600万円、市債のうち借換債で約4億9,200万円、地域振興基金繰入金で約2億2,000万円の減となったことなどによるものであります。

予算編成に当たりましては、財政健全化への道筋をつけるため、「むつ市財政中期見通し」の緊急健全化対策を最重点事項に据え、歳入規模に見合った財政規模への転換を図り、時代に即した真に必要な事務事業を見極めながら効果的で効率的な行政運営及び強固な財政基盤の確立を目指すとともに、「むつ市総合経営計画」の基本方針に沿った「むつ市成長戦略2017 希望のまち実現に向けた5つの重点施策」、すなわち「元気の向上」「暮らしの向上」「教育の向上」「安全の向上」「魅力の向上」につながる施策を積極的に展開することとし、将来にわたるむつ市成長の礎を築いていく確固たる決意を持って取り組んだところであります。

次に、議案第21号 平成29年度むつ市国民健康保険特別会計予算についてであります。予算総額は、歳入歳出とも78億8,845万6,000円となります。

これを前年度当初予算と比較しますと、金額では8,581万1,000円、率では1.1%の増となります。

歳出の主なものは、一般被保険者療養給付費、一般被保険者高額療養費、後期高齢者支援金等、介護納付金及び共同事業拠出金であり、歳入の主なものは、国民健康保険税、国庫支出金、前期高

齢者交付金及び共同事業交付金となっております。

次に、議案第22号 平成29年度むつ市後期高齢者医療特別会計予算についてであります。予算総額は、歳入歳出とも5億1,133万1,000円となります。

これを前年度当初予算と比較しますと、金額では3,260万8,000円、率では6.8%の増となります。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金であり、歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定負担金繰入金となっております。

次に、議案第23号 平成29年度むつ市介護保険特別会計予算についてであります。予算総額は、歳入歳出とも60億6,788万円となります。

これを前年度当初予算と比較しますと、金額では6,110万9,000円、率では1.0%の減となります。

歳出の主なものは、介護サービス等に要する経費であり、歳入の主なものは、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び一般会計繰入金となっております。

次に、議案第24号 平成29年度むつ市下水道事業特別会計予算についてであります。予算総額は、歳入歳出とも13億3,680万2,000円となります。

これを前年度当初予算と比較しますと、金額では8,836万7,000円、率では6.2%の減となります。

歳出の主なものは、一般管理費、処理場管理費、下水道整備費及び公債費であり、歳入の主なものは、下水道事業受益者負担金、下水道使用料、国庫支出金、一般会計繰入金及び市債となっております。

次に、議案第25号 平成29年度むつ市公共用地取得事業特別会計予算についてであります。予算総額は、歳入歳出とも1,479万2,000円となります。

これを前年度当初予算と比較しますと、1,280万

3,000円の増額となります。

歳出には市債に係る償還金を、歳入には一般会計繰入金を計上しております。

次に、議案第26号 平成29年度むつ市魚市場事業特別会計予算についてであります。予算総額は、歳入歳出とも4,576万3,000円となります。

これを前年度当初予算と比較しますと、金額では7億1,648万1,000円、率では93.6%の減となります。

歳出の主なものは、魚市場施設費及び新魚市場整備事業費であり、歳入の主なものは、魚市場使用料及び市債となっております。

次に、議案第27号 平成29年度むつ市水道事業会計予算についてご説明いたします。

まず、収益的収入及び支出についてであります。支出には水道施設の維持管理費等で17億2,099万2,000円を、収入には水道料金等で18億235万4,000円を計上しております。

次に、資本的収入及び支出についてであります。支出には建設改良費及び企業債の元金償還金で17億4,159万8,000円を、収入には企業債等で10億7,457万円を計上しております。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額6億6,702万8,000円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填するものとしております。

次に、新年度予算以外の議案及び報告についてご説明いたします。

まず、議案第1号 むつ市中小企業振興基本条例についてであります。本案は、中小企業の振興に関する基本理念及び施策の基本となる事項を定め、地域経済の活性化及び市民の皆様の生活の向上を図るためのものであります。

次に、議案第2号 むつ市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例についてであります。本案は、良好な都市環境の整備を図るため、むつ都市計画特別用途地区内における建築物の制

限に関し必要な事項を定めるためのものであります。

次に、議案第3号 むつ市部設置条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、多岐にわたる業務を所管する総務政策部を、内部管理等を所管する総務部及び企画、総合調整等を所管する企画部に再編し、組織の強化を図るためのものであります。

次に、議案第4号 むつ市個人情報保護条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、特定個人情報の提供に関する条文整備をするためのものであります。

次に、議案第5号 むつ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、特別職の職員で非常勤のものの年額で定める報酬の支給方法を改めるためのものであります。

次に、議案第6号 むつ市税条例等の一部を改正する条例についてであります。本案は、消費税率の引き上げ及びその延期等による地方税法の一部改正に伴い、軽自動車税の環境性能割の創設等の改正をするためのものであります。

次に、議案第7号 むつ市介護保険条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、消費税率の引き上げの延期に伴い、低所得者の介護保険料の軽減措置の拡充を見送り、昨年度から実施している現行の軽減措置を来年度も継続するためのものであります。

次に、議案第8号 むつ市指定地域密着型サービスの事業及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、介護保険法の一部改正に伴い、地域密着型サービスに移行した小規模な通所介護の

事業の基準を定めるためのものであります。

次に、議案第9号 むつ市観光遊覧船条例の一部を改正する条例についてであります。本案は、昨年9月9日の日本ジオパークネットワークへの加盟認定を契機とし、鯛島に上陸する観光遊覧船の航路を設定するためのものであります。

次に、議案第10号 財産の取得についてであります。本案は、新体育館の建設用地を取得するためのものであります。

次に、議案第11号 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更についてであります。本案は、構成団体であります八戸市階上町田代小学校中学校組合が本年3月31日をもって解散することに伴い、事務組合を組織する地方公共団体数を減少し、規約を変更するためのものであります。

次に、議案第12号 むつ市総合経営計画の基本構想についてであります。本案は、本年3月31日をもって計画期間が終了するむつ市長期総合計画に代わるむつ市総合経営計画の基本構想を策定するためのものであります。

次に、議案第13号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについてであります。本案は、本年6月30日をもって任期が満了となります永井信孝氏を推薦するため、提案するものであります。

次に、議案第14号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについてであります。本案は、本年3月31日をもって任期が満了となります福士きよこ氏の退任により欠員が生ずることから、後任として石倉司氏を推薦するため、提案するものであります。

次に、議案第15号 平成28年度むつ市一般会計補正予算についてであります。本案は、6億3,542万4,000円の増額補正でありまして、これに

より補正後の歳入歳出予算総額は、350億5,274万円となります。

まず、歳出の主なものについてであります。総務費の地域振興基金積立金を増額し、脇野沢コミュニティセンターを核とした小さな拠点による脇野沢創生プロジェクト事業費を計上しておりますほか、農林水産業費の脇野沢農業振興公社貸付金及び消防費の要配慮者等屋内退避施設整備事業費を計上し、土木費の下水道事業特別会計繰出金及び教育費の関根中学校整備事業費を増額しております。

次に、歳入の主なものについてであります。地方交付税には普通交付税の決定額を、国・県支出金には歳出との関連において補助見込額を、市債には事業との関連において借入見込額を計上しております。

また、関根中学校整備事業について継続費の追加及び新体育館整備事業について継続費の変更をしておりますほか、年度内に事業の完了が見込めないことから、社会保障・税番号制度対応事業外6事業について繰越明許費を追加しております。

次に、議案第16号 平成28年度むつ市後期高齢者医療特別会計補正予算についてであります。本案は、後期高齢者医療保険料に係る納付金の不足による1,343万9,000円の増額補正でありまして、これにより補正後の歳入歳出予算総額は、4億9,216万2,000円となります。

次に、議案第17号 平成28年度むつ市下水道事業特別会計補正予算についてであります。本案は、決算見込みによる1,854万6,000円の減額補正でありまして、これにより補正後の歳入歳出予算総額は、14億1,163万2,000円となります。

次に、議案第18号 平成28年度むつ市魚市場事業特別会計補正予算についてであります。本案は、新魚市場整備事業に係る財源内訳の変更による174万円の増額補正でありまして、これにより

補正後の歳入歳出予算総額は、7億6,458万4,000円となります。

また、新魚市場整備事業について、年度内の完了が見込めないことから繰越明許費を設定しております。

次に、議案第19号 平成28年度むつ市水道事業会計補正予算についてであります。本案は、決算見込みにより補正するもので、収益的収入及び支出において、支出では3,785万1,000円を、収入では2,476万円をそれぞれ減額しておりますほか、資本的収入及び支出において、支出では1億288万3,000円を、収入では1億1,614万8,000円をそれぞれ減額しております。

次に、報告第1号及び報告第2号についてありますが、これらは、昨年11月4日にむつ市緑ヶ丘地内の国道において発生した自動車事故及び昨年7月28日にむつ市中央一丁目地内の私有地において発生した国土調査事業の実施中の事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて、議会の委任をいただいておりますところにより、それぞれ専決処分したものであります。

次に、報告第3号についてありますが、これは、平成28年度むつ市一般会計補正予算について、道路等の除排雪経費に不足を生ずる見込みのため、関係予算を専決処分したものであります。

以上をもちまして、上程されました27議案3報告について、その大要を申し上げましたが、細部につきましては、議事の進行に伴いまして、ご質問により詳細ご説明申し上げます。

何とぞ慎重ご審議のうえ、原案どおり御議決及びご承認賜りますようお願い申し上げます。

ただいま私の提案理由の中で、議案第14号 人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについてのところで、「福士きよこ氏」と申し上げましたが、「福士きよ氏」と訂正させ

ていただきます。

○議長（浅利竹二郎） これで提案理由の説明を終わります。

◎散会の宣告

○議長（浅利竹二郎） 以上で、本日の日程は全部終わりました。

お諮りいたします。2月23日及び24日と2月27日から3月2日までは議案熟考のため休会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（浅利竹二郎） ご異議なしと認めます。よって、2月23日及び24日と2月27日から3月2日までは議案熟考のため休会することに決定いたしました。

なお、2月25日及び26日は休日のため休会とし、3月3日は一般質問を行います。

本日はこれで散会いたします。

午前10時56分 散会